

事業所における自己評価集計結果（公表） — 児童発達支援 — （令和4年度）

公表：令和5年3月30日

事業所名 社会福祉法人 高邦福祉会 柳川療育センター

		チェック項目	はい	いいえ	記入なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0		
	②	職員の配置数は適切であるか	2	4	1	職員が休んだ時には、他部署の方にヘルプに来てもらっている。	随時職員募集を行っている。
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	0	物の配置などは視覚的にわかりやすく工夫を行っている。部屋の電気やエアコンのスイッチが子どもの手の届く高さな為スイッチで遊んでしまう為その都度対応。	歩行器・車いす利用児に対してやバリアフリーに関しての改善点は、今後検討していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	7	0	0		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7				
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1			今後も評価表の結果の内容を見直し改善に努めたい。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			月に1度定期的に研修を行っている。今後も職員が発言出来るように配慮していく。	研修の機会を確保して参加できるようにする。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	7			アセスメントを行うことで、クラスの職員たちと、方向性を定めて支援することが出来るようになった。今後も継続する。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7				具体的な支援充実のため、ガイドラインを参照していく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7				日々の活動前の課題の確認や活動後の振り返りで一人一人にあった支援を考えられる体制をつかっていきたい
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			各クラスのスタッフで一緒に考え曜日や、子どもに合わせて立案している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	1	0	コロナ禍を上手く活用して人数の少ない日などに個別活動を実施。	今後は日常に活かせるように検討していく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	ミーティング時など、利用児の状況や職員の配置・動きの確認を毎回行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか	5	2	0	支援開始時や終了時には情報共有を行うように心がけている。	これからも継続し、一日の終わりにも振り返りだけではなく次へ繋がる打ち合わせの時間をつくれるよう努めていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	午前中の設定保育での様子における記録を主にとり、次回の支援につなげている。またいつもと違うと感じたことなど細かく記録し、支援方法の改善などに取り入れている。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	定期的に保護者との面談を行い、利用児への支援内容の検討を行っている。		

	チェック項目	はい	いいえ	記入なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	担当者会議は断らず、参加するようにしている。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	0	市町村によって偏りはあるものの必要が生じた場合は、相談支援事業所、子育て支援関係機関と連携し、その子どもと保護者を含めた支援を考えている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	6	1	該当なし。(医療的ケアの必要な利用者が今のところいない。)	必要に応じて検討していく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	0	0		
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0		
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	保護者を通し行っている。また就学サポートブックの記載作成・情報伝達などを通じ、いつでも連携できる体制を整えている。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	6	1	0	研修やセミナーなどの情報がある場合、職員に周知するようにしている。	新型コロナの感染がおちついたら、積極的にいきたい。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1	0		今後検討していく。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	3	0	代表者(社会福祉士)が参加している。そのことを職員が周知できるよう情報発信を心がける。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	送迎時やおたより紙を使って子どもの状況や気になること、課題、支援方法を話す機会をつくっている。また必要に応じて面談を行っている。	
	㉚	保育者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	0	0	ペアレント・トレーニング講座は行っていないが、親子教室を開催するなどの工夫をしている。	
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0		
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	0	個別支援計画の説明はわかりやすく丁寧に行うように心がけ工夫し、保護者からの同意もいただいている。	ガイドラインを把握し計画を立てていく。
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	保護者への助言はその都度お答えするようにしている。(判断が難しい場合は上司が対応している。)	検討したいこと、わからないことなどはなるべく迅速に応えられるよう努力している。必要に応じて面談を行っている。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	4	0	親子教室に関しては保護者同士の交流(関わり)の場を設けている。	現在、コロナ禍で施設全体で入館規制もあり、会を開催できていないが、今後は検討していきたい。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	保護者からの相談などはおたより紙や送迎時の状況報告などでいち早く察知し、相談体制を構築できるように工夫している。	部屋や時間の確保はその都度迅速に行えるように努める。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	月案(毎月の活動)と月の献立を発行している。連絡帳にてお知らせを対応している。	
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	0		
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	利用児・保護者が理解しやすいように伝達手段(視覚支援)を考えて配慮している。	
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	0		今後検討していく。
	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0	0	感染症に関しては保護者にも周知し、ご協力をお願いしている。	防犯や緊急時マニュアルは職員のみで周知しているため、今後は保護者への周知もしていく。
㊶	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	定期的に職員と子どもたちによる防災訓練を行っている。	毎月防災訓練は行っているが、保護者への周知は低い。	
㊷	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7	0	0	健康調査票を使って、保護者から情報をいただいている。		

		チェック項目	はい	いいえ	記入なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0	保護者にアレルギー調査票への記入をお願いし、また個別に聞き取りを行い、医師の指示書に基づく対応を行っている。緊急時のマニュアルも作り、外来看護師との連携をとっている。	
	④⑤	ヒアリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0		報告書が出た際は、迅速に職員間で共有できるように現場検証を行い振り返り(報告・連絡)の場所を設けるようにする。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	施設の研修会に出席している。	部署内で起こりそうな事例を挙げながら勉強会・研修をおこなっていきたいと考える。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	0	0		